

2023年5月15日

第14回 日本語交流プログラム

日本参加校 応募受付開始

公益財団法人 博報堂教育財団は、第14回 日本語交流プログラムに参加する日本校の応募受付を開始しましたので、本日発表いたします。

■ 本事業の目的

「文化の異なる人と、社会的課題に向かって、ともに行動できる人」への成長のきっかけとなる場の提供を目的としています。世界約10カ国の中学生が一堂に会することで、異文化共生体験の場を提供し、その後の継続的な能力向上への努力を促します。

■ 事業概要

本事業では、海外の中等教育機関(日本の中学校に相当)で日本語を学ぶ生徒と、日本の中学生が日本語で交流します。メインは来年5月に実施する日本語交流プログラムで、約10カ国の海外校生徒と教師が来日し、合宿形式の課外活動、日本校訪問、ホームステイなどの展開を行います。このメインプログラムでの交流を有意義にするために、オンラインを活用した学校交流も実施し、オンラインとリアルを組合せたコミュニケーションの頻度を増す内容としております。

■ 募集校数

プログラム開発協力校[1年コース]: 1~2校

プログラム開発推進校[3年コース]: 1校

■ 応募条件

- ー日本の学校教育法に規定された前期中等教育を行う学校であること
- ー必要に応じて、国・関係諸官庁などからプログラムへの参加許可を得られること
- ー来日する海外校の日本校訪問(ホームステイ含む)の受入が可能であること
- ープログラムの準備・実施に積極的・協力的に関われること
- ー生徒を指導する教師を引率者としてプログラムに参加させることが可能であること 等

※ 過去の参加校も応募可能です。

※ 詳しくは、財団ホームページに掲載の応募要項にてご確認ください。

財団ホームページ: <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

■ 助成内容

- ープログラム内の活動費(宿泊費、食費、交通費、保険加入費などを含む)
- ー海外校受入(日本校訪問)に関わる諸経費(実費)
- ー海外校とのオンライン交流の推進に係る費用(使途例:機器購入、環境整備、ICT サポート業務委託、教師の研修参加費用など)[1年コース:上限100万円支給/3年コース:初年度上限100万円、次年度以降年間上限50万円、3年合計上限200万円支給]

■ スケジュール

- エントリーシート受付期間: 2023年5月15日(月)～6月14日(水) 弊財団必着
- 応募申請書受付期間: 2023年5月15日(月)～7月28日(金) 弊財団必着
- 結果通知: 2023年10月上旬<予定>
- 実施日程(メインプログラム): 2024年5月8日(水)～5月21日(火)<予定>

※ 事業およびプログラム内容につきましては、当財団ホームページをご確認ください。

※ 各国の感染症拡大状況他の社会情勢によっては、当プログラムの全てまたは一部を延期・中止することがあります。

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、児童および青少年の健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子どもことば・教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

50回を超える開催となった児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」に加え、「海外の子どもたちの日本語教育支援」「世界の子どもたちとの日本語交流」「社会啓発事業(子どもたちの読書機会拡大)」さらに「こども研究所」などの活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報堂教育財団

日本語交流プログラム (担当: 伊吹)

TEL. 03-6206-6266 FAX. 03-6206-6582

E-mail: hakuho.gn@hakuhodo.co.jp